

村馬市 トピックス



楽しかった稲刈り！おいしかった餅！ 「稲刈り・餅つき体験」

市農業委員会等が農業の楽しさや収穫の喜びを体験しようと呼び掛けた「稲刈り・餅つき体験」が10月23日、上県町佐護で開催され、市内各地から家族連れなど約50名が参加しました。

今回刈り取る稲は、約半年前の6月14日に、今回同様参加者を募り田植え体験で植えた稲です。

子ども達はお父さんやお母さんたちと一緒に田んぼに入り、慣れない手つきで稲を刈り取り、千歯こきという昔ながらの農具を使って収穫した稲穂を脱穀しました。また稲の収穫後は餅つきを体験。体の小さな子供は大人に支えられながら杵で餅をつき、その後はつきたての餅をおいしそうに頬張っていました。

参加者にとって農業を身近に感じ、その楽しさを知ることができた一日となったようです。

昼間におばけ!?

～ハロウィーン・スタンプ・ラリー～

10月15日、巖原の「地域で子育てを楽しむ会」が、巖原小学校とその周辺市街地でハロウィーン・スタンプ・ラリーを実施しました。

「ハロウィーン」とは、世界各地で楽しまれているお祭りで、日本でいえばお盆のような日、10月31日に行われ、子供たちはお化けの格好などで近所の家々を歩いてまわります。

参加した98名の親子は、お化けなどの衣装を身に着け、八幡神社や市役所などのチェックポイントを回って、対馬に関するスタンプラリークイズやお菓子ももらってハロウィーンを楽しんでいました。



熱狂！馬跳ばせ

10月23日、上県町瀬田地区の自保呂ダム馬事公園で対馬初午祭が開催されました。祭りは、対馬

馬によるレース「馬跳ばせ」や障害馬術演技、馬に乗って矢を射る流鏑馬（やぶさめ）、乗馬体験コーナーなど盛りだくさんの内容でした。

この「馬跳ばせ」は、3年前、およそ40年ぶりに再現された上県町瀬田地区に伝わる伝統行事で、旧暦6月の午の日に行なわれていた「初午祭」の



対馬初午祭

余興として行なわれていたものです。

農業の機械化などにより今や稀少となった対馬馬の復興と観光の活性化につなげようという地元住民の協力で祭りが復活しました。

詰めかけた約5000人の観客からは、土煙を上げて疾走する対馬馬8頭の迫力あるレースに大きな声援が上がり、対馬馬とふれあう乗馬体験コーナーは、多くの子供たちで終日賑わいました。